

委員会調査事項

庁舎の今後のあり方について 議会運営委員会

本町は二村合併以降、庁舎を分庁方式としているが、行政運営の効率性及び住民サービスの利便性の両立を図る観点から、将来的な庁舎の配置や機能のあり方が重要な課題となっている。

特に庁舎の老朽化や維持管理コストの増大といった財政負担の増加に加え、災害時における防災拠点としての機能確保、庁舎機能の集約や災害時の強化の必要性が高まっている。

そこで、庁舎の統合や再編に至った経緯、意思決定や計画策定から方針決定に至るまでの過程、住民説明及び合意形成の手法等について、調査・研究する。

地域公共交通のあり方について 総務産業建設常任委員会

近年、全国的に深刻な運転士不足が散見され、本町でも地域公共交通の維持・確保が厳しい状況となる中、無人バスをはじめとする自動運転技術を活用した新たな交通手段が注目されている。

そこで先進的に無人バスの導入に至った背景や目的、導入後の利用状況及び維持管理コスト等とともに、従来型の地域公共交通がおかれている現状を把握すべきであると考ええる。

よって、本町における持続可能な地域公共交通体系の構築及び効率的・効果的な地域公共交通網の形成に向け、調査・研究する。

義務教育学校について 文教厚生常任委員会

本町では、少子化の進行に伴う望ましい教育環境の実現に向け、将来的な学校のあり方について検討に取り組む段階を迎えている。

こうした中、小学校と中学校の教育を一体的に行う義務教育学校は、学校再編の選択肢の一つであるとともに、教育の連続性の確保や教育内容の充実が期待されている。

そこで、義務教育学校における学校統合の経緯、保護者や地域住民との合意形成の過程などを確認すべきであると考ええる。よって、本町における持続可能な学校運営のあり方及び教育環境の充実に向け、調査・研究する。

委員会調査ってなに？

議会の権能強化と行政の複雑化、専門化に即応するために議会に常任委員会を設置し、詳細な調査・研究を行っています。調査結果については、本会議で報告しています。



みかんちゃん

編集後記

ときがわ町議会は2月の一般選挙を経て議員構成も大きく変わりましたが、2回目の定例議会を無事終える事が出来ました。

一般質問では新人議員5名を含め10名全員が登壇し、それぞれが独自の視点から活発な議論を行っています。町議会議員の役割は「町民の皆さまの声を町政に反映させること」「行政の取り組みをしっかりとチェックすること」だと考えています。今回の議会でも地域の課題や町の将来について真剣に議論し、一つ一つの課題に向き合いました。

一般質問紙面の各議員のQRコードを読み込んで頂き御視聴頂ければ幸いです。

議会報編集委員会

委員長 神山 俊
副委員長 高橋 浩美
神山 由絵
小野田 直幸
小室 初江
笠井 洋昭

この議会だよりは、議員の自主編集で発行しています。

防災行政無線テレホンサービス（無料）
Tel 080-0800-8432（携帯電話からも可）

ときがわ町議会だより

12